

News & Scope Handai Hospital

阪大病院ニュース

第16号

発行 / 大阪大学医学部附属病院広報委員会 (総務課)
http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp

禁転載 (この紙面は再生紙を使っています)

住所 / 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-15 TEL / 06-6879-5016

第三者から提言を

アドバイザリー委員会設置

阪大病院の医療の質を高め、効率的な経営ができるように第三者からアドバイスしていただく大阪大学医学部附属病院アドバイザリー委員会が設置され、第1回委員会がこのほど開催されました。阪大病院の理念や基本方針から、阪大病院の役割、地域医療との連携など幅広い分野において、貴重な助言をいただきました。今後の病院運営に生かしていきます。

情報公開、教育面など

国立大学法人となり、大学病院も医療の安全を確保し、質の向上を目指しながら、効率的な経営が求められるようになりまし

た形で病院運営などに提言していただく必要

長が選ばれました。今回

があり、アドバイザリー委員会を設置することになりました。委員は大学職員ではない第三者で、医療に



病院内を見学(視察)するアドバイザリー委員会の委員たち

第1回アドバイザリー委員会(10月13日)



アドバイザリー委員は次の通り。(敬称略)

- 大阪ガス専務 出田善蔵
- 大阪医療センター名誉院長 井上通敏
- 兵庫県立大学長 熊谷信昭
- 吹田市医師会会長 小谷 泰
- 大阪府副知事 高杉 豊
- ささえあい医療人権センター COML 理事長 辻本好子
- 関西労災病院長 早川 徹
- NHK大阪文化センター支社長 山本壮太

選ばれた8人の委員の方は別項の通りです。このほど開かれた委員会には、5人の委員が出席されました。まず、実際の病院を知っていたために、外来受付から診療室、高度救命救急センター、病歴管理室や病棟、阪大病院の先進医療センターなどを視察していただき、意見をいただきました。



中之島センターのヘルスケアクラブ ① プラスディスプレイが2台あるスタッフルーム ② 医療相談を受けるコンサルテーション室



大阪大学医学部跡地に今年4月オープンした大阪大学中之島センター8階に、阪大医学部と歯学部附属病院が運営する大阪大学ヘルスケアクラブ(OHCC)を開設する準備が行われています。将来、両病院が地域医療に貢献する施設として位置づけたいとの構想がもたれています。

センターは、大阪大学創立70周年記念事業として集められた募金をもとに設立されました。文部科学省キャンパス・イノベーションセンター(サテライトキャンパス)と合わせて建築された地上10階建ての建物のうち、1階、2階、7階、8階、9階、10階部分が阪大の施設です。1階は情報発信スペースと事務

局、2階はインターネットカフェ、7階はセミナーや講義を行える部屋、8階がOHCCで、9階が交流サロン、10階は公開講義やシンポジウムなどに使える佐治敬三メモリアルホールとなっています。大阪大学も国立大学法人となり、開かれた教育研究機能、社会へ

中之島センターにヘルスケアクラブ 大阪大学病院の情報受発信センターに

が、中心となって最終案を作成しています。当初は大阪大学同窓会、後援会関係者を中心とする会員制クラブとしますが、阪大医学部の跡地でもあり、病院の地域医療への貢献も重要な課題であるところから、会員枠を拡大するとともにインターネット、ホームページ等を活用したヘルスケア情報の一般の方への発信も視野に入れていきたいと考えています。

数や入院患者数、病床数などの基本的な情報や実際の経営状況や診療に説明を行いました。委員長に井上通敏、大阪医療センター名誉院長を選出してから意見交換をし、各委員からは次のような意見やアドバイスがありました。

病院の理念や基本方針に関しては、どの大阪大学病院でも同じような文言が並んでおり、阪大病院としての特色ある理念、基本方針を提示した方がよいとの示唆をいただきました。特に病院は人間の生命にかかわる場所であるので、倫理に関する理念を明示すべきではないかとの要望がありました。

また、大学病院のあり方として、教育、研究、診療を行うのは当然だが、すべてにおいて日本の医療の規範を示す存在とならなければいけないとの意見がありました。地域医療との連携に関しては、地域の中核

病院としての機能は果たしているとの評価をいただきました。しかし、退院された患者さまを受け入れる地域の医療機関に対する理解を深めてもらいたいとの考えが示されました。

経営に関しては、企業のように数値目標を明確にすることによって、その目標を達成した際に職員に達成感が得られ、より良い病院になっていくのではないかと、提言もありました。しかし、病院においては、数値化しにくい項目も多く、どのようにして目標を設定するかは今後の大きな課題であるとの共通した認識になりました。

その他、情報公開の重要性や医学教育における社会的な大切さなども指摘されました。最後に荻原病院長が「理念、基本方針から具体的な運営にまで幅広く、建設的な意見をいただきました。委員会の提言をもとに、より良い病院となるように改革していきたい」と、締めくくりました。

人工骨

「ネオボーン」実用化

整形 強度アップ、再生期間短縮

骨腫瘍で骨を失ったり、リウマチによって骨が破壊されたときに、骨の移植が必要になってきます。自分の健康な骨を切除し移植すると副作用があり、従来の人工骨にも難点がありました。阪大病院の整形外科は東芝セラミックスとの共同研究で、これまでの人工骨の欠点を克服した理想に近い人工骨「ネオボーン」の開発に成功し、昨年からの医療材料として実用化しています。



①完全な連通構造を持つハイドロキシアパタイト ②昨年発売の新規人工骨（ネオボーン）

病など、骨を欠損したときには、自家骨移植と人工骨を利用する二つの方法があります。自家骨移植は、主に自分の骨盤から骨を切り取り、欠損部に移植する方法です。自家骨移植は、健康なところにメスを入れなければいけないうえに、切り取った場所に痛みが生じたり、骨折しやすくなったりします。また、これまでの人工骨は、強度はあっても生体となじみにくかったり、生体となじみやすくても、骨を作る細胞が表面近くでしか生存せず、強度が弱かったりする欠点がありました。



③17歳男性の大腿骨腫瘍 ④ネオボーン移植後6カ月のX線写真

骨腫瘍で骨を失ったり、リウマチによって骨が破壊されたときに、骨の移植が必要になってきます。自分の健康な骨を切除し移植すると副作用があり、従来の人工骨にも難点がありました。阪大病院の整形外科は東芝セラミックスとの共同研究で、これまでの人工骨の欠点を克服した理想に近い人工骨「ネオボーン」の開発に成功し、昨年からの医療材料として実用化しています。

骨の内部まで入り込み、中心部分までを実際の骨細胞で埋めることができるのです。このために強度などすべてが実際の骨とほとんど変わらなくなるので、骨腫瘍で骨を失った患者さまに使用したところ、従来の人工骨では人工骨の内部まで骨が再生してくるのに半年から1年もかかっていたのに、ネオボーンでは3カ月から半年と半分ほどの期間で再生することが確かめられました。

吉川秀樹教授は、今後、ネオボーンをもとに巨大な骨欠損部でも、早期に血管の通った本当の骨を再生できる技術を確認していきたいと考えています。と、抱負を語っています。

手術が行われる手術室を管理、運営しているのが手術部です。年間6000件を超える手術が安全に行われ、患者さまがより早く回復される質の高い医療ができるように、手術室の環境を常に最高の状態となるよう努力しています。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

知識、技能向上目指し

看護部にキャリア開発センター

個人のキャリア開発に必要な知識・技能を計画的・継続的に習得する教育プログラムを提供し、高い臨床実践能力と特定の専門分野における能力を積極的に高めることができる看護部を育成すること

看護の分野ではがん看護、糖尿病看護や感染防止など特定の専門看護分野において、一定水準の教育を受けた専門看護師や認定看護師が活躍するようになり、自らの専門性を高めるという看護師個人のニーズが高まってきたことがあげられます。これら双方のニーズにこたえるため、これまでの職務を遂行する能力の育成を

目指した教育だけでなく、看護師個人のキャリア開発という視点から教育体制を見直す必要性が生じました。すでにいくつかのキャリア開発研修が始まっていますが、院内外を問わず大変反響があり、意欲を持った看護師の受講希望が多数あります。この研修は院外の看護師との相互啓蒙の機会ともなり、地域との

目指した教育だけでなく、看護師個人のキャリア開発という視点から教育体制を見直す必要性が生じました。すでにいくつかのキャリア開発研修が始まっていますが、院内外を問わず大変反響があり、意欲を持った看護師の受講希望が多数あります。この研修は院外の看護師との相互啓蒙の機会ともなり、地域との

安全で、質の高い医療を効率よく

手術部 最高の環境用意

手術が行われる手術室を管理、運営しているのが手術部です。年間6000件を超える手術が安全に行われ、患者さまがより早く回復される質の高い医療ができるように、手術室の環境を常に最高の状態となるよう努力しています。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。

手術室は17室あり、消化器外科、産婦人科などの外科系15診療科と内科系で骨髄移植を行っている血液・腫瘍内科と小児科の計17診療科です。



機器や器具が整然と置かれた手術室

ホスピタルミニニュース

院内パトロール始まる

荻原俊男病院長ら阪大病院管理者が診療現場を視察し、現場で働く医療従事者の意見を直接聴き、病院の運営改善に役立てる院内パトロールが2004年4月から始まりました。

今年4月から法人化され、病院経営の効率化と医療の質の確保が最優先とされたことから、現場で働く医療従事者と同じ視線で医療現場を見て、非効率な部分をチェックするとともに、現場の貴重な意見を直接聴き、病院改革に反映させようと始まった。パトロールは年に数回行う予定です。

特別室の使用料値下げ

患者さまに快適な入院生活を送っていただけるように、特別室使用料金を9月1日から値下げしました。

阪大病院の特別室使用料は1993年に制定されてから、据え置きになっていました。特別室の使用料金は、31,500円は、周辺の同規模病院と比較して割高であったため、料金を値下げすることにしました。

今回の改正では、15室の特別室を通常の日当たりを考慮し、特等室(A)と特等室(B)の二つのクラスに分けました。室料は特等室(A)26,250円、特等室(B)23,100円です(消費税は含んでおります)。

HPリニューアルへ

阪大病院のホームページをリニューアルします。改訂の基本方針は、患者さまが見やすく、役に立つホームページの作成です。各診療科の長を短く分かりやすく解説し、診療科ごとの外来担当表と担当者の専門が一目で分かるようにしたいと考えています。さらに、初診の手続きなど患者さまにとって重要な情報をふんだんに、見やすく盛り込んでいきたいと考えています。

質問箱

公費負担医療はどのような手続きをすればいいのですか。

公費負担医療は、病院で保険証を出して診療を受けた時に、患者さまが負担する診療費の全部または一部を国や地方自治体が負担する制度です。

適用を受けるには、受けようとする医療の種類により、市町村等または保健所へ医師の作成する意見書か診断書を添えて適用申請をして承認を受けなければなりません。

公費負担医療の種類と申請先は次の通りです。

更生医療：身体障害者手帳所持者で手術等の治療を受けることによりその障害の回復が見込まれる方
.....市役所等

育成医療：18歳未満で身体に障害がある方で手術等によりその障害の回復が見込まれる方.....保健所等

養育医療：種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児
.....保健所等

小児慢性特定疾患：18歳未満で次に分類される慢性疾患の方

悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、慢性心疾患(内科的治療に限る)、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液疾患、神経・筋疾患
.....保健所等

特定疾患：難病のうち特定の疾患(45疾患)にかかっている方
.....保健所等

通院医療：精神疾患で通院治療を受けている方
.....市役所等
公費負担医療に該当すると思われる方は、主治医または医療相談(受付窓口 番)にご相談ください。

生体部分肺移植 高度先進医療に

厚労省が承認

この度、厚生労働省に承認申請していただきました「生体部分肺移植術」が高度先進医療として承認され、9月1日以降から実施できるようになりました。適応症は、原発性肺高血圧症、特発性間質性肺炎、気管支拡張症、肺リンパ脈管腫瘍、閉塞性細気管支炎、間質性肺炎、嚢胞性肺線維症、肺嚢胞症となっています。この高度先進医療は、国内で承認されている

施設としては、岡山大学医学部・歯学部附属病院と大阪大学医学部附属病院の2病院です。
本院で実施している高度先進医療
実物大臓器モデルによる手術計画
(平成10年1月1日承認)
心臓移植手術
(平成13年4月25日承認)
生体部分肺移植術
(平成16年8月26日承認)

もありません。これらの手術室とは別に、泌尿器科が利用する体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置専用の手術室も1室あります。

総手術件数は2002年度に初めて6000件を超え、昨年度は6659件でした。緊急手術も700件を超えています。

手術で使う器具類は手術部が担当診療科と事前に綿密に打ち合わせ、滅菌したものを準備するとともに、術後も一貫した洗浄、滅菌システムで手術室における感染を防ぐようになっています。